

ゲムシタビン+シスプラチン療法を受けられる



















当日 2 日間

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日
経過	入院日	退院日
目標	○心身ともに安定した状態でゲムシタビン+シスプラチン療法を受けることができる ○治療に対する不安を表出できる ○副作用が最小限で治療を終了することができる ○感染予防の自己対策が理解でき実施できる	
検査	採血、レントゲン、体調確認を行ない、治療を決定します   身長体重を測ります	
食事	制限はありません できるだけ飲水してください(目安 1000ml)	
	朝食は 自宅で	  
処置・観察	リストバンドを装着します	
	点滴前に留置針を挿入します 点滴が終了後留置針を抜きます <div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; display: inline-block;">  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります </div>	
注射・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  制吐剤を内服します  以下の点滴を行います(約4時間) 1) 制吐剤 2) 点滴を1本 3) シスプラチン 4) ゲムシタビン 5) 点滴1本	 制吐剤を内服します
	 自宅で入浴をしてください  制限はありません  必要時、リハビリ科の診察があります	
説明	 医師より説明 (外来または入院時) ・化学療法について	 医師より説明 ・退院後の療養計画、療養上の注意点について
	 看護師より説明 ・入院生活について ・点滴投与中の注意点について	 看護師より説明 ・日常生活の注意点、退院後の生活について ・次回外来日/次回入院申込の手続きについて
	 薬剤師より説明 ・使用薬剤について ・持参薬確認	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

08-251-36

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

2024. 1. 29 版

京都第一赤十字病院